

機器・資材

神友工業(山口)

CADでNC入力を効率化

ユニットワーカも同時導入

山口県の軽量鉄骨の専門加工企業、神友工業(熊毛郡田布施町麻郷、中本明社長)はこのほど、独自カスタマイズしたシンテックのシステムを導入した。これは業務自動化プログラムオーダーメイドサービスを利用したもので、同時に導入したタケダ機械のユニットワーカ「UWF-150S II」のNC入力を、簡易化および効率化を図ったもの。

加工図を作成する前に鋼材発注が可能になるシステム。導入ソフトは「コンバーターの役割」(中本社長を担い、ドッドウエル B・M・Sの「S/F LINE ER」で作成されたデータを利用し、ユニットワーカへのNC入力を効率的に行うもの。従来の入力ソフトとは違い、NCデータに交換した際に物件や工区で分けることができ、作業者が

物件全体を把握せずともシンプルに作業を理解できる。また作業履歴を別のレイヤーに残すため、ミスの原因を短時間で見つけ出せるほか、物件全体の加工図が完成する前にマークや長さ、台数で分けた材料帳票をつくることができ、鋼材発注を前倒しできる。中本社長は「発注から材料が届くまでの間に加工図が作れるため、むだな待ち時間がなくなる。非常に効率上がる

画期的な方法だ」と話す。同社の作業手順は、まず届いたデータをドッドウエル B・M・Sの「S/F LINE ER」で開き、符号や工区で分けるとともに取り合いを確認し、シンテックの「長尺材引当」で拾い出しを行う。この時に必要な鋼材がわかるため、先行して注文できる。

続いてシンテックの新ソフトを起動して、ユニットワーカのNCデータを作成する。同ソフトは加工図をワクで囲む作業のため、打ち込み比べて大幅にミスを減らすことができる。最終データにはマークや工区が反映しているため、見分けやすくなっている。

今回のソフト開発にはタケダの全面協力があり、神友工業とシンテックは将来的に同ソフトの実用新案を取得して、タケダ社製品のNC入力ソフトとして発売を検討している。



CADを操る中本社長



導入したタケダの加工機

今回のソフト開発にはタケダの全面協力があり、神友工業とシンテックは将来的に同ソフトの実用新案を取得して、タケダ社製品のNC入力ソフトとして発売を検討している。

プロが選択する...
S/F FUTURE 2014
1.S/F REAL4との抜群な相性
 鉄骨専用CADは、ドッドウエル社 S/F シリーズ推奨

2. 鉄骨・階段・手摺の高速作図
 業界 No.1 のカスタマイズ機能
 設計から施工図、原図まで1本でカバー

3. 合理化に直結する豊富なアプリ群
 ExcelやAccessとダイレクトに連動したソフトの構築
 ・型紙作成ソフト ・鉄骨積算ソフト ・切り板集計ソフト
 ・材料引当ソフト ・手すり加工図ソフト ・平面割付ソフト
 ・製缶展開ソフト ・DAITO/タケダNC出力ソフトなど

- 鉄骨汎用CAD- シンテック株式会社
 ☎0820-52-5383
 742-1512 山口県熊毛郡田布施町麻郷奥 90
<http://www.shintech.jp/cad/>